

2017. 10. 17 建通新聞

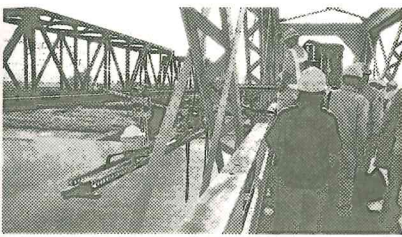
業界・行政ニュース

「体験型」で実施

岐大SIP実装
PJフィールド試験

インフラの維持管理や更新、メンテナンス技術を検証している岐阜大学SIP実装プロジェクト（六郷恵哲研究代表）は4日、第8回フィールド試験を行った。県内の研究機関や高校生など約75人が参加した。

今回は大垣市の協力で、国の重要文化財にもなっている揖斐川に架かる旧揖斐川橋梁（旧式トラス橋）の右岸側（大垣市新開町）で体験型の点検試験を行った。写



真。

技術的内容を机上で受
けた一行は橋梁に移動
し、実際に行われている

点検ロボットや点検内容
を見学した。試験対象は、▽橋梁点
検ロボットカメラなどの

機器を用いたモニタリングシステムの創生（三井住友建機）▽橋梁点検カメラシステム「見る・診る」(シビル調査設計)の2技術。参加者は実際にロボットカメラの操作を体験した。